

農村計画学会 平成26年度 東日本ブロック地区セミナー（第1回）

「スマートな農山漁村」の実現に向けて

－農山漁村における新旧技術・システムの融合への道筋－

日 時：2014年7月19日（土） 13:30～17:00

場 所：つくば市民大学（つくば市東新井15-2 ろうきんつくばビル5階）
つくばエクスプレスつくば駅より徒歩約10分（**駐車場はありません**）
<http://www.tsukuba-cu.net/access.html>

共 催：つくば3Eフォーラム委員会・バイオマスタスクフォース

開催趣旨

近年、スマートアグリやスマートビレッジといった言葉に象徴されるように、「スマートな農山漁村」の実現に向けた取り組みが、様々な分野において加速している。農山漁村のスマート化を巡っては、ICTなどの最新技術を導入することにより、農林水産物やエネルギーの生産などのシステムの最適化・高効率化を図ることに注目が集まっているが、地域資源管理やコミュニティなど関連する分野は広い。一方で、農山漁村においては、地域の自然環境や社会環境に応じて培われてきた伝統的な仕組みの中にも、再評価・再構築すべきスマートな技術やシステムが存在しており、横断的かつ統合的な視点からの検討が求められている。

本セミナーでは、学術・研究分野での横断的な視点からの議論、現場での実践的な取り組みを通じて、今後、目指すべき「スマートな農山漁村」のあり方と、求められる新旧の技術・システムの融合への道筋について展望します。

※本セミナーは、農村計画学会誌33巻1号特集のフォローアップもかねた企画になっております。

学会誌を購読されている方は、来場の際に、農村計画学会誌33巻1号(2014年6月発行)をご持参頂けると幸いです。

プログラム

13:35～ 趣旨説明 栗田 英治（農研機構 農村工学研究所）

13:50～ 話題提供

- 「農業・農村のスマート化とスマート情報通信技術」
永木 正和（筑波大学名誉教授）
- 「アクアポニクスによる地域興し」
飯島 朗（飯島アクアポニクス）
- 参加者からのショートスピーチ&提案

15:10～15:20 休憩

15:20～ 話題提供・ワークショップ

- 「スマートビレッジ共創のスタートアップ」
柚山 義人（農研機構 農村工学研究所）

16:00～16:55 ディスカッション 司会：渡部 陽介（清水建設）

参加費（資料代等）：300円（学生は無料） 定員：55名（先着順）

申込方法：

参加希望者は、氏名、所属、メールアドレスまたは連絡先電話番号を明記し、
7月10日（木）までに栗田英治（hkurita@affrc.go.jp：※@は半角）にメールでお申し込みください。

セミナー担当者：栗田 英治（農研機構 農村工学研究所）